

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

令和6年9月定例会

議席番号5番
宮下孝幸議員

1. 自主財源確保と今後の町創りについて

私は当選以来、前町長に対して、この町の行く末の安定には、何としても自主財源の確保が必須であると述べ続けて来た。

仙海町長は、選挙期間中や町長就任後においても、自主財源の確保には先ずもって、ふるさと納税増をとの考えを示している。

今期全寄付総額が一兆円を超えたとの報道もある中、ふるさと納税を含む自主財源の確保の今後につき、以下の2点について町長の所見を伺う。

(1) ふるさと納税について

①コンサルタントや若い職員の知恵を借り、新たな返礼品開発を進めていくとしているが、町長はどのような返礼品であれば寄付総額増が見込めると考えているのか。

②とかくみやげ物競争と揶揄される返礼品だが、仮に今回の新規返礼品が功を奏したとしても、頭打ちとなった場合、新たな返礼品の開発をその都度やると言う事なのか。

(2) 観光立町について

①ふるさと納税と併せ、観光資源を活かした「観光立町」により、永続的自主財源確保をすべきと考えるが、町長の考えはどうか。

②イベント観光につき、町長はどのような感想を持っているのか。

③インバウンドによる功罪と、当町にインバウンド観光を起こすとしたら、どのような施策が必要だと思っているか。

④国政・県政の力を借りてでも、永続的自主財源確保の為、町長として「観光立町実現」に向かう覚悟はあるか。